ラオフレンズの年間運営費は、約３億円ということで、アメリカの非営利法人「ラオフレンズ ウィズアウト ボーダー」と日本の非営利法人「ラオフレンズ ウィズアウト ボーダーJAPAN」が知恵を出し調達しています。ラオス政府からは電気代免除程度しか支援は無いそうで、病院自体も知恵を出して頑張っています。実際、ルアンパバーン空港からの帰路、出発ロビーでラオフレンズの常設募金箱を目にしました。
アメリカの非営利法人が全体の約半分の資金調達を達成しているそうです。今回のセレモニーに欧米人が目立ったのも道理です。そのような中、厚木県央ＲＣから 10 名ほど、仏教系の日本の宗教法人からなど、企業としてあるいは個人として支援を続けておられる方々など、総体で 80 名以上の支援者と病院関係者が集いました。
中でも 50 歳代の都内の実業家は、かつてＲＣに在席の経験があるなか、単独で医師二人分の人件費を寄付することを目標に実践しておられるそうです。
井津さんには、10 棟に及ぶ病院内を案内していただきました。ラオスでは、県立、郡立そして村の病院というレベルがあり、医師の国家免許というのはごく最近始まったばかりで、ラオフレンズの使命は県立病院の一角として現場の治療のほか、各医療機関のレベルアップにも及ぶそうです。ラオフレンズは、小規模ながらもレントゲン設備やＩＣＵが備えられ、来院者数は年ごとに増加しているそうですが、これ以上規模を拡大できない事情もお話しいただきました。各棟をご案内いただくなかで、各病棟スタッフが医師ではない井津さんをこの上なく信頼し尊敬していることが十分に感じられました。
また、『この部屋は大宮西ＲＣの支援で運営されている』という病院内の表示板や、三光ソフランさんのおかげで当クラブの名前も明記されている四輪駆動自動車も確認させていただきました。この車は訪問介護に活用され、年間４万キロを走っているそうです。
大宮ろう学園での授業参観でも感じたことですが、支援先である事業体に実体験として触れさせていただくことは極めて貴重な経験であり、支援者同士の情報共有もまた重要なことと思います。私自身、奉仕という形式に流されることなく、ＲＣとして真に尽くすべき支援先、そして支援方法について常に情報をリフレッシュしていくべきと感じたところです。
長くなり恐縮でしたが、ラオス探訪報告を行い、会長挨拶とさせていただきます。
なお、２月 27 日の、ローターアクトオープン委員会へのご参加をぜひお願いします。
今日もよろしくお願いします。

ロータリーソング斉唱

ロータリーソング「我等の生業」

※機器不具合のため、小林会長がアカペラで歌ってくださいました。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

榎本 貞寿会員

お客様紹介

■入会予定者／大東建託株式会社さいたま支店
主任　**植田 鐘澄様**
■2024 学年度米山記念奨学生
金 亮希さん
■2024-25 年度青少年交換学生
エリック・エスキルくん
（ご紹介：
副会長　**小沢　孝**）

幹事報告

幹事　岡部　勉

・1.27(月)大宮ろう学園への移動例会お疲れ様でした。設営された社会奉仕部門 十文字理事、社会奉仕委員会 吉田委員長をはじめとする委員会の皆様、ありがとうございました。
・2.5(水) IM に出席されました会員の皆様ありがとうございました。原田ガバナー補佐及び田畑 IM 実行委員長よりお礼のメールが届いております。司会進行役の横溝 IM 実行委員お疲れ様でした。
・2/8(土)～2/13(木)まで韓国訪日団及びインターアクト短期留学生受け入れにご尽力頂きました、川鍋理事、六戸様、齋藤敏雄委員長、ありがとうございました。インターアクト委員会 榎本委員長にも受け入れ等ご尽力頂きありがとうございました。また 3.25～3.30 まで訪韓留学生として埼玉栄より 2 名行きますので引き続きよろしくお願いいたします。
・2/24(月)は休会になります。次回例会は 3.3(月)になります。
・2/27(木)18 時より、JACK 大宮にてローターアクト委員会が開催されます。現時点での出席人数が少数です。必ずご参加ください。
・3/23(日) 米山記念奨学生修了式がパレスホテル大宮で行われます。
・ハイライトよねやまが届いておりますので各テーブルに配布してあります。
・ラオスのお土産を各テーブルにお配りさせて頂きました。小林会長のポケットマネーですので、お忘れなくお持ち帰りください。

・ラオスのご報告は別途映像にて皆さんにご案内いたします。
・本日例会後に役員会があります。